令和６年２月２７日

令和５年度筑後川局ダム建設事業費等監理委員会
審議概要について

独立行政法人水資源機構筑後川局では、管内のダム建設事業の実施におけるコスト縮減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について、第三者の意見を求める機関として標記委員会を設置し、一層の事業費・工程管理の充実を図ることとしております。

開催結果は、下記のとおりです。

記

日　時　：　令和６年２月２７日（火）　１５：００～１６：００
会　場　：　独立行政法人水資源機構　筑後川局　４０１会議室

【議事要旨】

筑後川水系ダム群連携事業及び寺内ダム再生事業の実施状況、事業費管理に関する取組状況とそれらに対する今後の検討項目等についてご説明し、以下のご意見等をいただきました。

・工事等の契約について、透明性・競争性の確保に努められたい。

・小石原川ダムが完成し渇水対策容量があることで一定の安心はあるところであるが、渇水の厳しい状況が続いているため、一日も早く筑後川水系ダム群連携事業の工事に着手されたい。

・筑後川水系ダム群連携事業について、トンネルの工事費は上振れしてしまうことが多く、活断層・地すべりを極力回避するなど、上振れするリスクを可能な限り低減できるよう調査を続けられたい。

・寺内ダム再生事業について、国土交通省が進めるダム下流の河川改修と連携を図りながら進捗されたい。

また、小石原川ダム建設事業の工事完了状況についてご報告し、以下のご意見等をいただきました。

・小石原川ダムは昨年の洪水や現在の渇水で役割を果たしており、様々な機会を通じてPRすべきである。

以上